

司法の反動化と



湖東記念病院事件
冤罪と闘い続ける
井戸謙一
弁護士が
語る！

冤罪事件

日時: **8月30日** (土) 14:00~ 13:30
開場

会場: **キャンパスプラザ京都** 第1会議室 資料カンパ500円

冤罪事件が大きな注目を集めています。警察・検察の違法な取り調べや証拠のでっち上げも明らかになっています。冤罪を生み出す仕組みの中でも司法の役割がとても重要です。逮捕や捜索の令状を発行するのも「人質司法」と言われる長期の勾留を認めるのも裁判所。そして裁判で有罪とされて再審を求めてもなかなか再審の扉は開きません。年十年もの時間、膨大な費用を費やして再審無罪となっても、失われた時間は戻ってきません。

「戦後最大の労働運動弾圧」といわれる“**関生事件**”は弾圧と同時に冤罪事件でもあります。司法の反動化と闘い、当たり前の人権民主主義を取り戻す闘いとして関生事件の完全無罪を勝ち取る闘いを強めるために、冤罪事件と闘ってきた井戸謙一弁護士の講演を企画しました。ぜひご参加ください。

労働組合つぶしの弾圧を許さない！京滋実行委員会

☎075-691-6191 〒京都市南区東九条上御霊町64-1 アンビシャス梅垣1F